

デイホスだより

発行日：2020年9月11日 ☆Vol. 4 ☆

まだまだ暑い毎日が続くこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。デイホスでは8月より月間プログラムを発行しています。以前はなかったプログラムや、曜日や場所が変更となったプログラムもあります。詳細はスタッフまでお問合せ下さい。

参加時のお願い

- ・引き続き感染対策として、一日の参加人数の把握をしていきます。昼食時の会話の自粛にご協力をお願いします。
- ・暑い日が続きます。水分補給はこまめにしましょう。

共同作品のご紹介

火曜日午後のプログラム「そうさく」において、アマビエを制作しました。メンバーでアイディアを出し合いながら貼り付けました



アマビエとは

江戸時代、肥後国（今の熊本県）に伝わる妖怪です。「病気が流行したら自分の姿を写して人に見せるように」と伝えて海に消えていったという言い伝えから、最近、日本国外で感染症の終息を願い「疫病退散」として話題になっています。

疫病退散

作品コーナー

夏の俳句・作品集

今回は俳句の作品を募集しました。テーマは「夏」です。暑さを思うと気持ちも溶けてしまいそうですが、作品を通して季節をぜひ味わってください。

この度初の試みとして、デイホスの皆様から作品を募集し、皆さんと一緒に作る「作品コーナー」を企画しました。



文のこし 夏のかけらは
恋のうつせみ ④

かき氷 キーンときたら
夏が来た ③

テレビ観る 厄病退散
花火かな Mちゃん

せつくよに 肌さす如く
蝉の声 K

暑い日 負けるな！
コロナへ！ 羊好き

夏空に 輝き映えて
白き雲 M・T

エアコンの タイマー押せぬ
熱帯夜（高橋）

暑さ増し アイスクリームを
食べる日々（井上）

夏不足 祭に花火
夏休み（春口）

暑すぎる 外に出るのも
命がけ（伊藤）

換気する その時気づく
夏が来た（古賀）



スタッフも近況について一句詠みました☆

あとがきコラム【つくる】

今回のデイホスだよりは、メンバー皆さんの作品と共同作品がメインです。創作という何かを作り出すという作業には、ある程度の余裕やエネルギーが必要です。考えたり感じたり、立ち止まったり。一方で、「つくる」という作業を通じて自身が元気になることもあります。創作過程でワクワクする楽しさ。それは大人になっても大切にしたいものです。

言葉ではうまく表せないことを、自由に表現することで気持ちがスッキリしたり、作り上げた後「今日はこんな気分だったのか」と自分の内面を理解することにもつながります。

作品に触れた人が、「こういう感じなのかな」と作り手の気持ちに思いを巡らせ、想像することで、そこに意味が生まれます。こうしてみると、作品は相手が受け取った時にはじめて完成するもの、なのかもしれません。

ともあれ、相手の反応（評価）を気にしすぎると、ありのままの表現から離れてしまいます。肩の力を抜いて、自由にのびやかに居られる時、自然と「私らしさ」が発揮されるのかもしれません。

そんな時間と場所を大切にしていきたい、と改めて感じたひと時でした。（高橋）